

令和5年度 行政評価の取組結果（財政・変革局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)	
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	1	⑩	公民連携推進事業	市政変革推進室	市政変革推進室	<p>厳しい財政状況の中から持続的かつ安定的な財源を確保するため、「提案型ネーミングライツ制度」を導入する。</p> <p>さらに、公民連携窓口を設置し、民間の知見を活用した地域課題の解決や新たな事業機会の創出を図る取組を推進するとともに、効率的な事業運営を図る。</p>	民間事業者からの提案受付件数（累計）	目標	5	件	10	件	20件 (R4～R6年度)	1,095	5,000	3,469	4,775	順調	<p>公民連携専用ホームページを活用した広報活動を実施し、民間事業者等から総合的に提案・相談を受け付けた。ネーミングライツについては、新規命名権料として4,000千円獲得した。以上のことから、「順調」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】 公民連携推進事業は、民間事業者等から総合的に提案を受け付け、目標を超える実績を達成しており、新規の命名権料も獲得できていることから、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 先行的に実施している「提案型ネーミングライツ制度」について、課題も判明したことから早急に見直しを図る必要がある。</p> <p>また、公民連携窓口の本格稼働など、より一層の公民連携を進める必要がある。</p>	
								実績	7	件	13	件										新たな 税外収入の確保
								達成率	140.0	%	130.0	%										
							新規獲得分の命名権料（年額）	目標	10,000	千円	10,000	千円	約20% 削減 (R37年度)									
実績	2,000	千円	4,000	千円																		
達成率	20.0	%	40.0	%																		
Ⅴ-3-(2)-② 公共施設の転活用などの検討	2	⑪	【施策評価のみ】未利用公共施設の有効活用	市政変革推進室	財政局財産活用推進課	【施策の内容】 各局への未利用公共施設の情報提供や有効活用を調整する。	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	<p>【評価理由】 公共施設マネジメントの取組は予定通り進んでいること、未利用の公共施設の転活用可能なものについても、有効活用を図っていることから、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 公共施設の転活用などの検討に当たっては、公共施設マネジメントと連動して取組を進める必要がある。</p> <p>公共施設マネジメントを進めるに当たっては、今後の新規施設の状況により進捗率が変化する可能性がある。</p> <p>また、より一層、市民の理解を深める必要がある。</p>			
							実績	—	—	—	—	—										
							達成率	—	—	—	—	—										
	3	⑧ ⑨ ⑪ ⑫	公共施設マネジメント推進事業	市政変革推進室	市政変革推進室	「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取組を進める。	公共施設保有量の縮減	全公共施設 (H26年度)	目標	—	—	約20% 削減 (R37年度)										
									実績	—	—											
									達成率	—	—											
															順調	<p>「北九州市公共施設マネジメント実行計画」の着実な推進を図るため、「公共施設マネジメント4ヶ年行動計画」に基づき、PDCAサイクルで評価・見直しを行い、概ね計画どおり実施したため、「順調」と判断。</p>						